

## 2021年度 自己点検・評価について

学校法人明倫館 専門学校アレック情報ビジネス学院は、1987年（昭和62年）の開校以来「人倫道徳を明らかにすることを理念とする実学の府」として地域及び国家に貢献しうる人材育成に努めてまいりました。

この間、時代に合わせて常に改善を図りつつ「社会人としての精神とマナーの育成」及び「専門技術の確実な修得」を中心に据えた教育を一貫して行い、2016年度からは、更なる教育の質向上と内容の充実を目指して、教育内容、管理・運営体制などについて自己点検・評価を実施しております。

評価結果につきましては「自己点検・評価報告書」にまとめ、ホームページで公開するとともに、学校関係者評価委員会において客観的な視点からご検討いただき、より一層の改善につなげていきたいと考えております。

2022年10月28日

学校法人明倫館

専門学校アレック情報ビジネス学院

校長／自己評価委員会委員長

福井 武久

### 点検・評価結果

「評価」欄…実施状況(達成度)を4段階評価で記入

評価	4	3	2	1
実施状況 (達成度)	適切 (8割以上達成)	ほぼ適切 (6割以上達成)	やや不適切 (4割以上達成)	不適切 (達成度4割未満)

大項目	中項目	小項目	評価	前回
1 建学の精神 教育・教育目的 教育目標	(1)教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化(文章等にまとめ他者が確認できる状態)されているか。上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等を盛り込んでいるか。	①【学内】学生に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	4	4
		②【学内】教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか。	4	4
		③【学外】学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか。	4	4
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念、教育目標は教室及び教務室の壁に常時掲示するとともに「学生生活の手引」に記載、年度初めのオリエンテーションにて全学生及び教職員に配布、教員が学生に説明し周知を図った。</li> <li>・教育理念、教育目標を本校ホームページにて公開、また、「入学案内」に記載し、入学希望者、高等学校等に配布した。</li> <li>・学校説明会、オープンキャンパス等において説明を行った。</li> </ul>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
2 教育の内容	(1)各学科の教育目標、育人材像に向けたカリキュラム作成などの取り組みが行われているか。	① 学内複数の教職員によりカリキュラムの作成が行われているか。	4	4
		② カリキュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために複数の内部職員を入れているか。	4	4
		③ カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているか。	4	4
		④ カリキュラムに、作成に携わった学内外のメンバーの意見が反映されているか。	4	4
		⑤ 育人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文書化されているか。	4	4
		⑥ シラバスなどが作成されているか。	4	4
		⑦ 各教員から進度表およびシラバスが提出され取りまとめられているか。	4	4
		⑧ シラバスなどが学生に公開されているか。	4	4
評価の理由				
<p>・カリキュラムの作成は、教育課程編成委員会に於ける意見・アドバイスを念頭に、教務部全教員によって行った。 (教育課程編成委員会は、校長・教務部長・学年主任・事務局広報担当職員及び学外の業界関係者によって構成され、カリキュラムに関して高校生の現状と社会ニーズを踏まえた意見交換を行う場である。)</p> <p>・カリキュラムは、下記のプロセスに従って作成される。          &lt;カリキュラム作成プロセス&gt;          1. 各科所属教員が、次年度のカリキュラム編成方針・改善案を策定。          2. 各科カリキュラムの現状及び次年度の編成方針・改善案について、第1回教育課程編成委員会において意見交換。          3. 第1回教育課程編成委員会の議事内容を踏まえ、本校教務部において次年度カリキュラム原案作成。          4. 次年度カリキュラム原案について、第2回教育課程編成委員会において質疑応答、意見交換。          5. 第2回教育課程編成委員会の議事内容を踏まえ、本校教務部において次年度カリキュラム案作成。          6. 次年度カリキュラム案について、校長の判断、許可を得て確定。</p> <p>・上記「カリキュラム作成プロセス」における意見交換の内容を、次年度のカリキュラムに反映した。          ・ITエンジニア科・・・現行カリキュラムの継承。          ・事務ビジネス科・・・ノートPCの導入に伴い、医療事務・ドクターズクラーク科との共通授業を実施する。          ・医療事務・ドクターズクラーク科・・・ノートPCの導入に伴い、事務ビジネス科との共通授業を実施する。          ・公務員科・・・現行カリキュラムの継承。          ・建築科・・・「職業実践専門課程」未認定のため、教員・非常勤講師とでカリキュラムを作成。          「職業実践専門課程」申請に向け準備。</p> <p>・各学科の修業年限分のカリキュラム及びその関連情報を下記の文書に記載し、学生への配布或いはホームページへの掲載により公開した。          &lt;カリキュラム関連文書&gt;          ・クラス別年間カリキュラム          各クラスで1年間で学ぶ科目とその時間数・学習時期を記載。          当該文書をオリエンテーションにて学生に配布、説明を行った。          ・学科別科目一覧表          各科で学ぶ科目の学習内容、時間数を記載。科目担当教員が作成し、教務部長が取りまとめて保管している。          当該文書の内容を、ホームページにて公開した。          ・進度表(シラバス)          各科目の単元ごとの学習内容と時間配分を記載。科目担当教員が作成し、教務部長が取りまとめて保管している。          当該文書の内容を、ホームページにて公開した。          ・学生生活の手引          各科が目指す人材像、検定試験、学習科目、各科目の学習内容を記載。          当該文書をオリエンテーションにて学生に配布、説明を行った。</p>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
	(2)各学科の教育目標、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みが行われているか。	⑨ ビジネス教育を行っているか。	4	4
		⑩ コミュニケーション能力向上に向けた取り組みを行っているか。	4	4
		⑪ リメディアル教育を行っているか。	4	4
		⑫ リメディアル教育により学力は向上したか。	4	4
		⑬ 企業・地域・行政との連携を図っているか。	4	3
評価の理由				
2 教育 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス教育について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビジネスマナー」の授業において、ビジネスマナー、就職に対する心構え、為替等経済に関する基礎知識について講義を行った。</li> <li>・「就職実務」の授業において、電話対応、接客の仕方、仕事の進め方、ビジネス文書、時事問題等について講義、演習を行った。</li> <li>・年5回のビジネスマナー週間、就職研修を通し、ビジネスマナー等実践演習を行った。</li> </ul> </li> <li>・コミュニケーション能力向上について <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コミュニケーション技法」の授業において、社会での様々な場面におけるコミュニケーション技術について講義、演習を行った。</li> <li>・「プレゼンテーション技法」の授業において、パワーポイントによるプレゼンテーション及び聴衆とのコミュニケーションについて講義、演習を行った。</li> <li>・「リスクマネジメント」の授業、就職研修においてグループディスカッション及び発表の実践演習を行った。</li> <li>・「卒業研究」におけるグループ作業、成果発表、論文作成を通して、コミュニケーションの実践を行った。</li> </ul> </li> <li>・リメディアル教育について <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数・数学について、全新生99名に対し、入学前から1学年後半まで問題演習により学力の維持・向上を図った。</li> <li>・中学生レベルの数学の習得度を測るチェックテストを2回行い、学習成果を見た。1回目は10月に実施し、平均点81.3点であった。当該分野の指導を行ったのち、1月に2回目を実施し、平均点83.8点と2.5点の伸びがみられた。</li> <li>・テスト結果は、その後の検定対策等の際、個々の能力に応じた指導をするのに役立った。</li> </ul> </li> <li>・企業・地域・行政との連携について <ul style="list-style-type: none"> <li>・全学科において業界団体及び企業と連携してのカリキュラム作成、実践的実習授業、教員研修等を行った。</li> <li>・「マネジメントゲーム(事務ビジネス科)」「デザイン思考(ITエンジニア科、公務員科)」など、企業の方を講師に招き授業を実施した。</li> <li>・公務員科において、高校生対象無料公務員講座を開設し、公務員試験対策のノウハウを広く提供した。</li> <li>・公務員科において、税務署等の官公庁見学を実施し、在校生の教育・指導及び高等学校等に出向いての公務員試験講習会・説明会における情報提供に活用した。</li> <li>・本校卒業生の現役公務員による現状報告会を実施した。</li> <li>・前八戸副市長の大平氏に新たに評議員に就任していただいた。公務員科において、特別講演を行った。</li> <li>・建築科において、現場見学の授業を行った。</li> </ul> </li> </ul>			

大項目	中項目	小項目	評価	前回
	(3)各学科の教育目標、育人材像に向けた教員の資質維持や向上に向けた取り組みが行われているか。	⑭ 教員の研修計画が作成されているか。	3	3
		⑮ 専門性や指導力などの維持や向上のための外部研修・研究へ派遣しているか。	3	4
評価の理由				
2	教育の内容	<p>・各学科において「専門分野の知識・技能向上」及び「授業及び学生指導力向上」を目的とした研修内容を策定し、計画を立てた。開催される研修はコロナ前の状況に戻りつつあるが、対面での研修などは参加に消極的にならざるを得なかった。</p> <p>・各学科において下記の研修に参加し、参加者は報告書を提出、教務部長、校長の確認後、資料と共に常時閲覧可能な状態で保管した。</p> <p>&lt;2021年度 教員研修実績&gt;</p> <p>1. ITエンジニア科 「AIリテラシー講座」 主催：株式会社サーティファイ 「データサイエンス教育研修」 主催：全国専門学校教育研究会</p> <p>2. 事務ビジネス科 「人生100年時代 未来につながるマネーリテラシー」 主催：株式会社ドコモgacco 「ICT活用研修」 主催：全国専門学校教育研究会 「ブレンディッドラーニング実践 ～オンライン授業でのアバター活用とバーチャルキャンパス～」 主催：全国専門学校教育研究会</p> <p>3. 医療事務・ドクターズクラーク科 「学生におけるコミュニケーションの課題と求められる能力とは」 主催：株式会社サーティファイ</p> <p>4. 公務員科 「選ばれる専門学校になるための『教育力の広報』～専門学校ならではの教学マネジメントを考える～」 主催：株式会社進研アド 「公務員国家一般職高卒者試験・地方初級 指導者セミナー」 主催：TAC株式会社</p> <p>5. 建築科 「キャリア相談員養成研修 学生・生徒の「やる気」向上～相談技法と役立つツール」 主催：ジョブカフェあおもり 「ドローン講習」 主催：ドローンビジネスカレッジ 三八五青森校</p>		

大項目	中項目	小項目	評価	前回
3 教育の実施体制	(1)各学科の教育目標、育成人材像に向けて教育環境が整備・活用されているか。	① 組織図があるか。	4	4
		② 学校の年間スケジュールはあるか。	4	4
		③ 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。	4	4
		④ 学校生活(実習・行事等)において保険に加入しているか。	4	4
		⑤ 防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか。	4	4
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織図は毎年度見直し、年度初めに全教職員に配布している。</li> <li>・年間スケジュールは、学校行事、検定試験及び各職務における作業項目等を詳細に記載し、新年度開始前に全教職員に配布した。</li> <li>・各担任は、上述の年間スケジュールを自クラスの学生用に最適化し、クラス年間スケジュール表として学生に配布した。</li> <li>・2022年度より校地内全面禁煙とした。喫煙に関しては「学生生活の手引」に未成年者の喫煙の禁止、健康への配慮、喫煙マナー等について記載、年度始めのオリエンテーションにて学生に配布し説明、周知を図った。</li> <li>・保険については「専修学校各種学校学生・生徒災害傷害保険(職業教育・キャリア教育財団)」に全学生が加入している。</li> <li>・防災・防犯設備は業者により定期的に点検・整備を受けている。</li> </ul>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
4 教育目標の達成度と教育効果	(1)各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価が行われているか。	① 学生の就職に関する目標を設定したか。	4	4
		② 学生の就職に関する目標が教職員に共有されていたか。	4	4
		③ 学生の就職結果に関して、検証・報告が行われたか。	4	4
		④ 学生の就職活動に関する記録がなされているか。	4	4
		⑤ 評価表・成績表など客観的判断のできる記録がなされているか。	4	4
		⑥ 卒業生の進路・就職先等の記録がなされているか。	4	4
		⑦ 対外部に向けた就職実績を公表しているか。	4	3
		⑧ 資格・検定の結果を公表しているか。	4	3
		⑨ 卒業生の進路・就職先を公表しているか。	4	3
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職に関する目標は、就職率100%に設定し指導に取り組んだ。</li> <li>・設定した目標は、教職員で共有し、週2回行う就職会議において各学生の活動状況について逐次報告、検証を行った。</li> <li>・学生の就職活動に関する記録は、「就職希望調査書」「就職希望状況」「企業訪問(会社説明会)報告書」「企業ガイダンス報告書」「就職試験状況報告書」「企業実習報告書」等に記載し、保管している。</li> <li>・学生の成績については明確な基準に基づいて評価を行い、「成績一覧表」として電子データ及び紙ベースで記録、厳重に管理している。</li> <li>・卒業生の進路・就職先について「卒業生就職先一覧表」に記録、保管している。</li> <li>・就職実績、資格・検定の結果、進路・就職先は、ホームページへの掲載、入学案内への記載、校舎1階ロビーでの掲示を通して公開している。また、これらを高校訪問の際に配布し周知した。</li> </ul>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
5 学生支援	(1)各学科の教育目標、育人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(入学前)	① 学校案内等には育人材像が明示されているか。	4	4
		② 学校案内等には目指す資格・検定等が明示されているか。	4	4
		③ 学校案内等には学費・教材費等が明示されているか。	4	4
		④ 学校案内等には選抜方法が明示されているか。	4	4
		⑤ 入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか。	4	3
		⑥ 学校説明会等による情報提供(上記①から④)を行っているか。	4	4
		⑦ 入学予定者に対し学習指導・支援等が行われているか。	4	4
		⑧ 入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションが行われているか。	3	3
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「入学案内」に育人材像、各学科で目指す資格・検定等を明記している。</li> <li>・「募集要項」に学費、教材費、入学選考料、選抜方法を明記している。</li> <li>・入学に関する問い合わせ等については、ホームページ又は電話での受付体制を整え、速やかな対応に努めている。 2021年度は事務局が不在の際に対応できない等の課題があったが、2021年10月より事務局に職員を常駐させる体制を整えている。</li> <li>・「入学案内」「募集要項」に記載した内容について、学校説明会、オープンキャンパスを通じて説明を行っている。</li> <li>・入学予定者に対して、入学後のスムーズなスタートのために入学前ガイダンスを実施し、学習・学生生活に関する説明と入学前課題の配布を行っている。</li> </ul> しかし、2021年度は新型コロナウイルスの影響で開催することができず、書類を送付した。				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
5 学生 支援	(2)各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(在学時)	⑨ 担任による面談が定期的に行われているか。	4	4
		⑩ 保護者との計画的な相談会・面談を行っているか。	4	4
		⑪ 学生の面談・相談記録があるか。	4	4
		⑫ 定期的に健康診断を行っているか。	4	4
		⑬ 奨学金制度等の経済的支援があるか。	4	4
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談、父母面談、三者面談を年間スケジュールに組み込んで計画的に実施するとともに、必要に応じ学生又は保護者と個別に相談、面談を実施している。</li> <li>・個人面談調査書等に記録を残し学生一人ひとりの能力、個性に応じた適切な指導に努めている。</li> <li>・毎年4月に健康診断を実施し、学生の健康状態に留意している。また、希望者に対して新型コロナワクチンの職域接種を行った。</li> <li>・経済的支援のため入学免除制度、アレック特別奨学金制度、特待生制度を設け、また日本学生支援機構等の奨学金制度に関しては申込の案内、手続きの支援を行っている。</li> <li>・高等教育の修学支援新制度への対応を行った。</li> </ul>				



大項目	中項目	小項目	評価	前回
5 学生支援	(3)各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか。(卒業後)	⑭ 卒業生の会(同窓会等)はあるか。	3	2
		⑮ 卒業生の会(同窓会等)の支援を行っているか。	4	3
		⑯ 卒業生への職業紹介をしているか。	4	4
		⑰ 学校情報を卒業生に知らせているか。	4	4
		⑱ 学校情報を保護者に知らせているか。	4	4
		⑲ 学校情報を高等学校等に知らせているか。	4	4
		⑳ 学校情報を企業等に知らせているか。	4	4
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・同窓会は組織として確立しており、卒業時に各学科から幹事を選出、運営の安定した継続を図っている。しかし、定期的と同窓会を開催できておらず、運営に課題がある。</li> <li>・同窓会幹事会において規約を見直し、「アレック同窓会奨学金」の創設・ノートパソコン40台を学校へ寄贈することを決めた。</li> <li>・同窓会を支援する組織として、常勤教員によって構成される同窓会事務局を学内に設け、同窓会からの要請に随時対応している。</li> <li>・卒業生への職業紹介については、卒業生から転職、再就職の相談を受けた際、および企業から卒業生に対する求人情報があった際には、メール、SNSによる情報提供など、随時対応している。</li> <li>・学校の概要、各学科の目標と教育内容、年間スケジュール、教職員、教育環境等についてホームページで公開している。</li> <li>・学校情報の公開内容は「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」(文部科学省生涯学習政策局『専修学校における学校評価ガイドライン』附属資料5 p.65)に準拠している。</li> </ul>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
6 社会活動	(1)意図的・計画的・組織的に社会活動への取組が推進されているか。	① 地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。	4	4
		② 上記において定期的な会合に参加しているか。	4	4
	評価の理由			
<p>・八戸商工会議所、全国専門学校教育研究会、全国専修学校各種学校総連合会、全国経理教育協会に加盟、定期的な会合に参加し各団体への貢献を果たすとともに、そこで得た情報を学校運営に生かしている。</p>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
7 管理 運営	(1)学校の管理・運営体制が確立しているか。	① 理事会が定期的に開催されているか。	4	4
		② 評議員会が定期的に開催されているか。	4	4
		③ 理事会・評議員会の議事録は公開されているか。	4	4
		④ 防災・防犯対策を組織的に行っているか。	4	3
		⑤ 定期的に防災・防犯訓練を実施しているか。	3	3
		⑥ 個人情報保護規程が文書化されているか。	4	4
		⑦ 公印管理簿があるか。	4	4
		⑧ 教職員の健康診断が行われているか。	4	4
評価の理由				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事会、評議員会を定期的に執り行ない議事録を作成、閲覧の要請がある場合は対応する体制となっている。</li> <li>・防災・防犯対策のための組織が確立しており、「防災安全の手引き」(青森県教育委員会)及び「学校の危機管理マニュアル」(文部科学省)に倣って、2022年度に「危機管理マニュアル」を策定した。 また、1Fロビーに防犯カメラを設置し不審者侵入等への対策を講じている。</li> <li>・2021年4月12日 火災を想定した避難訓練、同10月4日 地震を想定した避難訓練を実施した。今後、防犯訓練の実施が必要と考える。</li> <li>・個人情報の保護に関してはプライバシーポリシーを明文化し、ホームページで公開している。</li> <li>・公印は「公印管理規定」に則って管理し、使用に当たっては「公印台帳」「公印使用簿」「公文書番号記録簿」への記載を行っている。</li> <li>・年1回教職員の健康診断を行なっている。</li> </ul>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
8 財務	(1)財務体質が健全であり、財務運営が適切に行われているか。	① 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	3	3
		② 予算は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。	4	4
		③ 会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。	4	4
		④ 会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか。	4	4
		⑤ 私立学校法における財務情報公開の体制整理はできているか。	4	4
		⑥ 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	4	4
	評価の理由			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校法人会計基準に則り財務運営を行っている。</li> <li>・直近の数年は、学生募集に注力したため赤字額は少なくなってきているが、校舎の老朽化にともない今後さまざまな補修が必要になると思われる。</li> <li>・建物管理に関する諸法規に則り、施設設備の保守・管理を行っている。</li> </ul>				

大項目	中項目	小項目	評価	前回
9 改革・改善	(1)各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がなされているか。	① 自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールが文書化されているか。	4	4
		② 自己点検・評価の組織があるか。	4	4
		③ 自己点検・評価の結果を教職員で共有する機会を設けたか。	4	4
		④ 自己点検・評価報告書があるか。	4	4
		⑤ 自己点検・評価報告書が公表されているか。	4	4
		⑥ 改善を行うための組織があるか。	4	4
	評価の理由			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校評価実施規程」を定め、それに則り自己評価委員会を設置、自己点検・評価を実施、その結果を「自己点検・評価報告書」にまとめ、ホームページに掲載、教職員で共有するとともに外部に公開している。</li> <li>・学校評価の推進と学校評価に基づく改善活動の実施を目的とした学校評価推進委員会を設置している。</li> </ul>				